



2023年度総会後の記念写真

孤独な育児からの解放と 子育てを楽しめる環境づくり

東京都三鷹市 特定非営利活動法人子育てコンビニ

NPO法人子育てコンビニは、地域に密着した子育て支援活動を展開

NPO法人子育てコンビニは、「孤独な育児からの解放と、子育てを楽しめる環境づくりを目指す」をミッションに、平成13年より三鷹市内で活動を開始しNPO法人化し24期を迎えた。三鷹市の子育てポータルサイトの一部「みたか子育てねっと・子育てコンビニ」の製作ボランティア募集をきっかけに集まったメンバーたちを中心に、子育てに関する講座、母になったばかりの女性たちの声を集めたドキュメンタリー映画の製作と上映、小学生の保護者のための地域SNS家庭教育支援コミュニティ運営など、自身のために、そして地域の母親たちのためにと四半世紀に渡り

様々な子育て支援を展開してきた。

平成29年より家庭訪問型子育て支援ホームスタート(ホームスタート・みたか)の活動を始め、就学前のお子さんのいるご家庭をこれまで約300件、のべ2100回以上訪問してきた。

小さな子どもを育てている家庭へ寄り添う支援

三鷹市は水と緑の公園都市と言われ、東京郊外のベッドタウンとして、転勤族が多いことでも知られている。近年、住みやすい街・子育てしやすい街ということで結婚や出産を機に三鷹市に転入する人も多くなっている。世の中では男女ともに育児取得の促進、待機





子育てコンビニひろばの様子

児童ゼロなどが進み、仕事と子育ての両立が一般的になってきてはいるが、その両立に悩む母親や父親が増えているのも事実である。三鷹市に引っ越してきたばかり、共働きで近所付き合い、ご実家や親戚も遠く子育てのロールモデルが身近にいない、そのような中で初めての子育てで、様々な不安を抱えているご家庭は案外多い。子育てコンビニは、ホームページやフリーペーパー「子育てコンビニ通信」（平成19年より約6000部を年4回発行）などの情報発信だけではなく、子育てコンビニひろばなどの子育て広場の開催や、子どもと一緒に参加できる講座、勉強

会、ランチ会などを年約40回以上開催することを続けてきており、今までに多くの親子が参加されてきた。

ホームスタート・みたかの活動

外に出かけていくことがむずかしく孤立しがちな子育て中の方々からオフアワーがあれば、ボランティアが家庭訪問をして、話し相手になったり、一緒に家事をしたり、子どもと遊んだりという活動が、アウトリーチ型の子育て支援「ホームスタート」である。ホームスタートは、地域に密着した活動として、世界22か国また日本各地で実施されており、三鷹市では三鷹市社会福祉協議会からの委託事業として、NPO法人子育てコンビニが運営している。

家庭訪問ボランティア（ホームビジター）の養成は、三鷹市子ども政策部の協力も得て毎年講座を開催しており、37時間の講習を無欠席で修了した方がホームビジターとなる。ホームビジターは地域の子育て経験者であり、現在約70名の登録がある。年齢は子育て中の30代からお孫さんがいる80代までと幅広いが、自分自身も様々な子育ての苦労があったという思いから、若い子育て家庭を支援したいという熱い気持ちでこの活動に参加されている。訪問先の親子と親しくなり、訪問活動



三鷹中央通りマルシェや社協の福祉バザーに参加



ホームスタート・ジャパンの東京ビジター交流会にホームスタート・みたかのビジターが参加



シエアキッチンNaanaでランチ付き講座の様子

が終わった後もお付き合いが続くこともしばしばで、ご近所での多世代交流のきっかけともなっている。

ホームビジターの中でシニアの方々を中心としてできたグループは、リサイクル品や手作り品、焼き菓子などを市内のマルシェやバザーなどに出品して販売している。NPOやホームスタートの広報活動にもなり、シニアの活躍の場にもなっている。

子どもたちに食の大切さを伝えたい

6年前からスタートした「シエアキッチンNaana」では、小さいお子さんを育てている方々に、ちよつと実家に帰ったような気持ちでゆつくりしていただきたいと、講座付きのランチ会を始め3年になる。ランチ会のメニューは、できるだけ地域の新鮮な季節の野菜を使い、参加者が家庭でも作れるようにレシピを用意し、子ども向けにも応用できるような工夫をしている。講座では、焼売、ちまき、ニョッキ、バナナケーキ、クレープ、あじさい寒天、オートミールクッキーなどの料理やお菓子を作るが、いずれも2〜3歳児と一緒に作業できるものとなっている。家庭内で子どもと作業するとなると、準備や片付けがちよつと大変と考えてしまいがちだが、シエアキッチンでなら一緒にできますとママたち

に喜ばれている。エプロンや三角巾を付けて、張り切って参加されるお子さんたちもとても楽しそうで、自分で作ったものの美味しさを味わっているようだ。「家では食べないのに、お野菜をパクパク食べてくれました」「ゆつたりと過ごさせてもらえてよかった」「ゆつたりなどの感想もあり、シエアキッチンの運営をしている子育てコンビニ会員のボランティアアスタフとの交流も楽しんでいる。

子どもの時代を 親子で大切に過ごして欲しい

この20年で、インターネットの普及が急激に進み、スマートフォンがなければ生活が成り立たない時代になってしまった。また、共働きのご家庭が一般的になり、家族の在り方も変わってきた。現代の様々な社会問題を見聞きするたびに、子どもの時代、特に乳幼児期にしっかりと親子の絆を育んでいくことが大切だと思う。時代が変わっても、子育ての基本は変わらない。親子が仲良く楽しく幸せな時間を過ごすことで、次の世代が育っていくと考える。そのため、ささやかなことでも地域の中でお役に立てればと思いい活動を続けている。

(特定非営利活動法人子育てコンビニ

理事長 小林七子)